

平成29年第5回狭山市定例教育委員会会議録

開催日時 平成29年5月16日(火)  
午後3時から午後4時30分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄  
教育長職務代理者 吉 川 明 彦  
委 員 橋 本 秀 樹  
委 員 宮 崎 英 子

欠席者 委 員 荒 川 和 子

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

|          |         |           |         |
|----------|---------|-----------|---------|
| 生涯学習部長   | 滝 嶋 正 司 | 次長兼教育総務課長 | 杉 田 幸 伸 |
| 社会教育課長   | 田 中 肇 夫 | 中央公民館長    | 内 藤 光 重 |
| 中央図書館長   | 奥 富 悟   | スポーツ振興課長  | 五十嵐 和 也 |
| 学校教育部長   | 井 堀 広 幸 | 参事兼教育指導課長 | 和 田 雅 士 |
| 教育センター所長 | 鈴 木 浩 明 | 書 記       | 吉 澤 俊 充 |

会議の公開・非公開 議案第13号については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立が損なわれるおそれがあることから、非公開とした。

傍聴者数 0名

報告事項

- ・狭山市立博物館の臨時休館について

報告者(社会教育課長)

(要旨)

6月26日(月)から6月30日(金)までの間、館内の燻蒸作業及び整理のために臨時休館する旨の報告がなされた。

- ・平成29年度狭山市立小・中学校職員一覧について

報告者(教育指導課長)

(要旨)

狭山市立小・中学校の職員体制における英語活動支援員、さやまっ子相談員等の市費の教員補助者について報告がなされた。

- ・中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

市内8中学校区で土曜日または日曜日に2時間、年間30回程度「狭山市学校支援ボランティアセンター」に委託して実施する。今年度は、市内の大学生にもボランティアとしての参加の募集をする。今年度は5月13日（土）に入間川中学校、堀兼中学校を皮切りにスタートした。登録者数は、現在2年生68名、3年生59名である。また、夏季休業中6日間、冬期休業中3日間2、3年生を対象とした集中講義を業者に委託して実施する旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、学校以外の会場で行われる場合は、私服でも良いのかとの質疑に、学校以外の会場においては、私服も可となっている旨の答弁がなされた。学校によって、登録率に差があるが、その理由はどの質疑に、登録率に関しては、学校会場のところが高くなっている傾向にあるが、今後、分析をして登録率が低いところを上げるよう努力をしていきたい旨の答弁がなされた。柏原中学校の登録数が記されていないがどの質疑に、柏原中学校は、以前から土曜寺子屋というものを行っており、誰でも参加できるという方式を取っているため、登録という形をとっていない旨の答弁がなされた。昨年からはじめ、思ったより登録率や出席率が良くなかったということであるので、生徒及び保護者へ周知をして登録率また出席率が上がるような取組をしてもらいたい旨の意見に、今年度は、保護者会でPRをした旨の答弁がなされた。

- ・平成29年度狭山市小・中学生英語サマーキャンプについて

報告者（教育センター所長）

（要旨）

7月26日（水）から7月28日（金）までの2泊3日で、市内小学校6年生15名及び中学校1年生8名を募って実施する。本年度は、9名のALT全員が参加し、よりきめ細かな指導の充実を図る旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、昨年度の例では、グループワークとあるが、どのようなことをするのかとの質疑に、グループ単位でいろいろクイズをしたり作品をつくったり、成果発表の準備などである旨の答弁がなされた。

- ・平成28年度学校施設整備実施状況について

報告者（教育総務課長）

（要旨）

空調設備改修事業については、快適な教育環境を確保するため校舎の除湿温度保持工事を実施したものであり、平成29年度の実施で一通り全校を完了する予定である。施設改修事業については、教育環境の維持保全のため施設や設備の改修などを実施したもので、非常放送設備等の改修、給食配膳用のエレベーターの改修工事等を実施した。統廃合推進事業については、昨年4月に旧東中学校の生徒を受け入れた狭山台中学校の除湿温度保持工事などの環境整備

を実施したものである旨の報告がなされた。

- ・平成28年度社会教育関連事業実施状況について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

生涯学習推進事業、学校支援事業、家庭教育支援事業及び現代的課題等講座運営事業等について報告がなされた。

- ・平成28年度博物館入館者数について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

平成27年度から指定管理となり2年目になる。総入館者数については、平成27年度と比較し10,609人約40%増加した。その要因としては、春期企画展及び冬期企画展の入館者数が前年度に比べて大幅に増加したことによるものと考えられる旨の報告がなされた。

- ・平成28年度公民館利用状況について

報告者（中央公民館長）

（要旨）

主催事業は、前年度と比較して回数で6.1%の増、参加者が1.9%の増となっている。主な要因としては、各館で連続講座の取り組みを増やしていることなどである。貸館業務については、件数で6.5%の減、人数で8.6%の減となっており、主な要因としては、新狭山公民館が建て替えて1年間休館となったこと、また、狭山台公民館の空調改修工事に伴い4か月近く休館をしたことの影響ととらえている旨の報告がなされた。

- ・平成28年度図書館利用状況について

報告者（中央図書館長）

（要旨）

利用者数は、合計で4,816人の増となった。また、平成28年度から狭山台図書館が、指定管理者による運営を開始した効果として、第2、第4月曜日以外の月曜日を開館、毎日午後8時までの開館、さらにイベントの開催数を増やしたことにより、来館者数は19,000人余りの増となっており、図書館という場所を知ってもらう機会にはなったと考えている。今後、それを貸出しの数などに結び付けていくような工夫をしていきたいと考えている旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、移動図書館の車が来るときに音楽を流しているのかとの質疑に、流している旨の答弁がなされた。移動図書館を利用する高齢の方にとっては、来てくれることはありがたいことだと聞いており、移動図書館の更なる周知をお願いしたい旨の意見に、移動図書館の利用者或いは貸し出

し数が減っており、現在、原因について究明中であるが、移動図書館の活用について、PR等進めていきたい旨の答弁がなされた。

・平成28年度社会体育関連事業実施状況について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

スポーツ教室参加状況、スポーツ・レクリエーション事業参加状況、委託事業参加状況および開放体育館施設利用状況等について報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、狭山台体育館は、1日平均の利用件数、人数が減っているということであるが、稼働率はほぼ100%に近いということである。市民総合体育館の稼働率も100%に近いと思う。小・中学校の開放体育館もほぼ稼働率はいっばいかと認識しているが、冬・春休みの長期休業期間について1日でも多く開放ができるよう働きかけをしてもらいたい旨の意見に、なるべく多くの方が利用できるよう働きかけていきたい旨の答弁がなされた。

・平成28年度市内公立中学校卒業者の進路状況について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

高等学校の進学率は、平成27年度は99.6%であったが平成28年度は98.6%であった。全日制については、平成27年度92%、平成28年度89.2%であった。未定者については、0.4%で前年度より若干下がっている旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、近隣他市との比較はしたことはあるのかとの質疑に、公式に他市との比較をしたことはないが、資料としてはデータ収集できるので、今後、他市との比較についても研究をしていきたい旨の答弁がなされた。公立高校の県外というものの数字はどういった数字かとの質疑に、転出等に伴い他県等の公立高校に進学したということである旨の答弁がなされた。

・平成28年度教育指導事業について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

学校訪問、わくわく支援員・アシスタントティーチャーの配置等について報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、幼・保・小連携教育の推進について、協議会をそれぞれ1～2回開催したとあるが、1回の場合もあるのかとの質疑に、全部で8地区あり、都合で1回しか開催できないところもあるが、ほぼ2回開催している旨の答弁がなされた。1回目は挨拶等で終わってしまうので、次に続ける課題等の取組については話合いができないし、解決の手探りにもならないと思うので、ぜひとも年2回は開催してもらいたい旨の意見がなされた。

・平成28年度教育センター利用状況について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

施設の利用状況等また相談件数については、全体で1,438件と昨年度に比べ57件の増となっている。相談内容も多様化複雑化しており、学校からの訪問要請や就学相談に関わる訪問が増加している旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、平成26年度からの3年度間で、多くの子供たちが適応指導教室の見学に来たり、入ったりしたという理由や原因はどの質疑に、入級は、平成28年度は5人であったが、週1回の利用や週2回来る子たちなど、毎日適応指導教室に来なくても学校と適応指導教室に来るという子供たちが増えたことによる旨の答弁がなされた。適応指導教室は、良い教室であり良い結果が出ているので続けてもらいたい旨の意見がなされた。不登校が多くなってきたと感じている。不登校にならないような取り組みを研究できないか、方策を考えてもらいたい旨の意見に、不登校の相談件数も大変多くなっており、各学校とも初期対応は、登校渋りのあたりから家庭訪問等を行ったりしているが、未然防止の方策としては、子供たちが安心して過せる学級経営の強化ということで若い教員を中心に特別活動を中心とした研修と実践に努めている。また、小中一貫教育や連携教育についても、中1ギャップの解消という狙いが大きくあるので、不登校の未然防止の策の一つかと考えているが、研究をしてよりよい方向に進めていきたい旨の答弁がなされた。家庭の状況もその要因だと思うので、教育委員会からも情報発信して家庭が良くなるような方向になればと思っている旨の意見がなされた。

・平成28年度教育センター主催研修等の概要について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

教職員研修、社会教育講座及び児童生徒体験講座、また、平成28年度は、今日的課題として教職員のメンタルヘルスに関する研修を新たに実施した。平成29年度はさらに保護者等からの様々な要望に対応する研修を実施する予定である旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、様々な要望に対応する研修を平成29年度から始めるということであるが、今現場では保護者からの要望が多いのかとの質疑に、子供の人数も減ってきた中で、家族や子どもを取り巻く社会的な環境の変化により、保護者の不安や不満による難しい相談が多くなってきている。その中でちょっとしたトラブル等も感情的になってしまうといったことは、現在、狭山市でも発生している旨の答弁がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事一覧について

報告者（社会教育課長）

（スポーツ振興課主幹）

(教育指導課長)

(要旨)

社会教育課関係 6 件、スポーツ振興課関係 3 件及び教育指導課関係 1 件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

議 案

議案第 13 号 狭山市立富士見集会所運営審議会委員の委嘱について

狭山市立富士見集会所運営審議会委員渡辺陌男氏が逝去したことに伴い、後任として田淵俊和氏を委嘱するため、提案がなされたものである。

議案第 13 号については、原案可決した。

以 上